

同志社法学

総目次

第三五卷

自第一
至第八
七九号

論 說

政党支持強度の消長(二・完)……………	三宅一郎…三五	卷	一(二七九)	一頁	(一頁)
責任能力の鑑定(一)……………	青木紀博…三五		一(二七九)	五四	(五四)
国際私法における方式概念(一)……………	岡本善八…三五		二(二八〇)	一	(一一九)
——フランス判例法を手がかりとして——					
ホッブスの「犯罪と刑罰」論に関する一考察……………	清水征樹…三五		二(二八〇)	二六	(一四四)
——主著『リヴァイアサン』を素材として——					
アメリカ近代的土地所有権の萌芽(一)……………	金山正信…三五		三(二八一)	一	(二六七)
——マサチューセッツ植民当初の土地所有制度——					
責任能力の鑑定(二)……………	青木紀博…三五		三(二八一)	七三	(三三九)
「保守—革新」イデオロギーと態度空間……………	三宅一郎…三五		四(二八二)	一	(四四五)
アメリカ近代的土地所有権の萌芽(二・完)……………	金山正信…三五		四(二八二)	五九	(五〇三)
——マサチューセッツ植民当初の土地所有制度——					
職業利益と政党支持……………	三宅一郎…三五		五(二八三)	一	(六一五)
仮釈放手続における受刑者の法的地位……………	瀬川 晃…三五		五(二八三)	五〇	(六六四)
——イギリスにおける展開を中心として——					
オースティンの法概念論と最近(1961年以後)の					
イギリス Jurisprudence(二・完)……………	八木鉄男…三五		五(二八三)	一一〇	(七三四)

THE LAWS AND LIBERTIES の成立まで……………金山正信…三五 六(一八四) 一(八四三)

—マサチューセッツ植民当初の法と宗教—

アメリカ法をめぐる誤解について……………サミュエル・マーミン 釜田泰介(訳)…三五 六(一八四) 五二(八九四)

研究ノート

西ドイツ離婚法における

破綻主義の特質とその限界(二・完)……………神谷 遊…三五 一(二七九) 七八(七八)

共犯と身分についての一考察(一)……………中西 縁…三五 二(一八〇) 七九(一九七)

—歴史的展開を中心として—

共犯と身分についての一考察(二・完)……………中西 縁…三五 三(一八一) 一〇五(三七一)

—歴史的展開を中心として—

少数者の国際的保護について(一)……………大竹秀樹…三五 四(一八二) 一一三(五五七)

—第二七条の起草過程を中心として—

三新法体制期の府県会制度……………居石正和…三五 四(一八二) 一二八(五七二)

—府県会の予算議定権を中心として—

規則10b-5にもとづく私的訴権と信頼……………栗山 修…三五 五(一八三) 一四九(七六三)

—証券市場における詐欺理論を中心として—

少数者の国際的保護について(二・完)……………大竹秀樹…三五 五(一八三) 一六九(七八三)

—第二七条の起草過程を中心として—

退去強制手続の司法審査(一)……………	宮川成雄…三五	六(一八四)	七〇(九一二)
——一九五二〜八〇年の日米比較——			

判例研究

母子関係と民法第七八四条但書、第九一〇条の類推適用…佐藤義彦…三五	三(一八一)	一三二(三九八)
刑法一三〇条前段にいう「侵入」の意義……………川本哲郎…三五	五(一八三)	一九九(八一三)

資料

カナリス「債権の物権化」(紹介)……………赤松秀岳…三五	一(一七九)	九七(九七)
Claus-Wilhelm Canaris, Die Verdinglichung obligatorischer Rechte; Festschrift für Werner Flume zum 70. Geburtstag Bd. 1 (1978) S. 371ff.		
素人仲間における並行評価……………アルトゥール 上田健二(訳)……………三五	二(一八〇)	一一三(二三一)
——一般的犯罪論のための言語哲学的論考——		
J・A・パスモア「市民的正義とその敵手たち」……………深田三徳 沼口智則(訳)……………三五	三(一八一)	一四七(四一三)
イギリス雇用契約における労働義務		
(Obligation to Work) ……………唐津 博…三五	五(一八三)	二〇九(八二三)
——労働義務の履行に関する若干の考察——		

金容旭^{キムヨンウク} 婚外子の判例に関する研究……………西尾 昭(訳)…三五 六(一八四) 一一九(九六一)

(婚外子の判例에 관한 研究)

バウマン編 行刑法の改正〔訳〕(一)……………訳編者代表 大谷 實…三五 六(一八四) 一四一(九八三)

(Jürgen Baumann (Hrsg.):

Die Reform des Strafvollzugs, 1974)